

## 菊の香（2012年11月16日）



ひとが必死に生きていくなかで、以前とまったくおなじ生活にはもどれないにしても、ひとりひとりがそれなりの形で安定をとりもどしつつあります。みながそれぞれの生活や仕事をおくることのなかには地域社会の未来はないでしょう。しかし健康カウンセリング外来で医療的介入が必要となることが、1年8か月たったいまでもあります。

南相馬市立病院の玄関先では菊のつよい香がただよっていました。

-----  
アルバムにもどる

東日本大震災後のわれわれの活動 にもどる

フロントページにもどる

カウンタ 144（2012年11月24日より）